

資料2-1

		太陽光 (メガソーラー)	太陽光 (住宅) (＃)	風力(陸上)	風力(洋上) 2020年の諸元	小水力	地熱	バイオマス (木質専焼)	バイオマス (石炭混焼)
割引率		0、1、3、5%							
モデルプラントの規模(出力)		1200kW	4kW	2万kW	15万kW	200kW	3万kW	5000kW	75万kW
諸元のベース		直近3年間に建設が終了した設備に対する補助実績のデータ、関連事業者へのインタビュー	住宅用太陽光補助金の平均値、関連事業者へのインタビュー	直近3年間に建設が終了した設備に対する補助実績のデータ、関連事業者へのインタビュー	関連事業者へのインタビュー	直近3年間に建設が終了した設備に対する補助実績のデータ、関連事業者へのインタビュー	関連事業者へのインタビュー	直近3年間に建設が終了した設備に対する補助実績のデータ、関連事業者へのインタビュー	直近3年間に建設が終了した設備に対する補助実績のデータ、関連事業者へのインタビュー
設備利用率		○12%	○12%	○20%	○30%	○60%	○80%○70% ○60%○50% ○10%	○80% ○70% ○60% ○50% ○10%	○80% ○70% ○60% ○50% ○10%
稼働年数		○25年 ○20年	○25年 ○20年	○25年 ○20年	○25年 ○20年	○40年 ○30年	○40年 ○30年	○40年 ○30年	○40年 ○30年
資本費	建設費	35～55万円/ kW ⇒4.2～6.6億円	48～55万円/ kW ⇒192～220万円	20～35万円/ kW ⇒40～70億円	28.3～70万円/ kW ⇒425～1050億円	80～100万円/ kW ⇒1.6～2.0億円	70～90万円/ kW ⇒210～270億円	30～40万円/ kW ⇒15～20億円	3～5億円
	固定資産税率	1.4%	—	1.4%	—	1.4%	1.4%	1.4%	1.4%
	水利利用料	—	—	—	—	26万円	—	—	—
運転維持費	人件費	300万円/年	—	1.4%/年(建設費における比率)	1.4%/年(建設費における比率)	700万円/年	1.2億円/年	0.7億円/年	0.1億円/年
	修繕費	1%/年(建設費における比率)	1.5%/年(建設費における比率)			1%/年(建設費における比率)	2.2%/年(建設費における比率)	4.4%/年(建設費における比率)	1.5%/年(建設費における比率)
	諸費	0.6%/年(建設費における比率)	—	0.6%/年(建設費における比率)	0.6%/年(建設費における比率)	2%/年(建設費における比率)	0.8%/年(建設費における比率)	(修繕費を含む)	1.5%/年(建設費における比率)
	業務分担費(一般管理費)	14.0%/年(直接費における比率)	—	14.0%/年(直接費における比率)	14.0%/年(直接費における比率)	14.0%/年(直接費における比率)	16.1%/年(建設費における比率)	(人件費を含む)	14.0%/年(直接費における比率)
燃料費	初年度価格(2010年度平均価格)	—	—	—	—	—	—	7,500～17,000円/t (0.5～1.1円/MJ)	7,500～21,000円/t (0.5～1.4円/MJ)
	燃料費上昇率	—	—	—	—	—	—	—	—
	燃料発熱量(HHV)	—	—	—	—	—	—	15.0MJ/kg	15.0MJ/kg
	熱効率(HHV)	—	—	—	—	—	—	20%	42%
	所内率	—	—	—	—	—	10%	13%	6.2%
	燃料諸経費	—	—	—	—	—	—	400～600円/t (0.027～0.04円/MJ)	(初年度価格に含む)
価格変動要因 2020年、30年の	技術革新・量産効果	議題3で議論	議題3で議論	議題3で議論	議題3で議論	—	—	—	—
	燃料費上昇率	—	—	—	—	—	—	—	—
備考		【電源】(＃)がついているものは、需要側に設置するもの。 【割引率】将来の金銭的価値を現在の価値に割り引く(換算する)ときの割合を1年あたりの割合で示したもの。割引率が高い場合、燃料費の比率が高い電源(将来発生するコストの割合が多い電源。一般的には、火力>原子力>水力)ほど、現在価値としての発電単価は小さくなる。 【人件費】人件費には、給料手当や厚生費、退職給付金などが含まれる。 【直接費】人件費、修繕費、諸費の合計							